

# からだのとしょかん通信

分かりやすい医学情報を集めた「からだのとしょかん」は  
外来棟2階にあります。気軽にお立ち寄りください。

## 2024年9月号

### 悪性黒色腫ってなんですか？

皮膚科 高塚 純子

#### どんな腫瘍ですか？

悪性黒色腫（メラノーマ）は皮膚がんの一つで、皮膚の色を作るメラノサイトが悪性化したものです。日本人は白人と比較すると発生率は低く、10万人あたり1~2人とされています。

#### どんなところにできますか？

全身のどこにでもできますが、日本人は手足、特に足のうらが多くて4割を、爪が1割を占めています。まれですが、消化管や鼻腔などの粘膜や眼にもできます。

#### どんな症状ですか？

最初は黒いシミで始まり、徐々に盛り上がってきます。爪にできた場合は縦に伸びる黒い線から始まることもあります。

#### どんな時に注意したらいいですか？

以前からあったシミが急に大きくなったり、盛り上がってきたり、出血してきたら皮膚科を受診しましょう。受診の目安としては、大きさが7mm以上、形が左右非対称でいびつな形、色むらが出てきた時などです。爪の場合は、黒い線が太くなったり、凸凹してきたりしたら要注意です。ただし、小児期にできたものは悪性ではなく、自然に薄くなることが知られていますので心配しないでください。

#### どんな検査をしますか？

皮膚科では、ダーモスコピーという光をあてて観察する虫眼鏡のような機器を用いて診察します。悪性黒色腫に特徴的なパターンがあり診断に有用です。確定診断のために、皮膚生検を行って組織検査をすることもあります。

#### どんな治療をしますか？

原発の腫瘍の厚みによって治療方針は異なりますが、基本は手術です。半数以上の方が、手術のみで治療は終了です。小さくて、ごく早期の場合は入院せずに外来手術を行います。腫瘍の厚みがある場合は画像検査に加えて、リンパ節を調べる検査をします。

#### 手術をしたら治療は終わりですか？

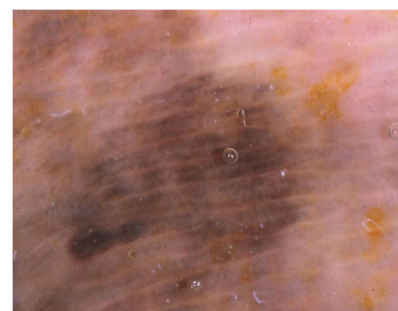
それぞれ進行度（ステージ）によって治療方針は異なります。リンパ節に転移があったときは、術後に免疫療法や分子標的薬などの補助療法を1年間行う場合もあります。手術後は、再発がないことを確認するために定期的に通院をしていただいています。

#### おわりに

悪性黒色腫は早期の段階で治療すれば、多くは再発することなく治癒します。また進行期であっても、この10年で色々な新薬が導入され、治療方法が増えてきています。悪性黒色腫を始めとする皮膚がんは身体の表面に発生するわけですから、自己検診は非常に大切です。早期発見、早期治療を目指しましょう。



↑ 足底の悪性黒色腫



↑ ダーモスコピーで拡大、色むらがあります

からだのとしょかんでは、新潟県立図書館の協力を得て企画展示コーナーを設けています。  
テーマと本の内容はおよそ2か月ごとに入れ替わります。  
現在展開中のコーナーを紹介します。

### 9・10月「美しい風景」(10/16(水)まで)



秋の行楽シーズンに行ってみたい・見てみたい世界中の絶景や、新潟県内の身近な風景の写真などの本を集めました。どうぞご利用ください。

\*展示コーナーにある本も借りられます。

\*院外資料のため、指定の返却日までに必ずお返してください。

～次回の展示もお楽しみに～

## 新着雑誌紹介

からだのとしょかんに入った新しい雑誌を紹介します。

※最新号は貸出できません。室内でご覧ください。

### NHK きょうの健康

2024年8月号 特集 目的別筋トレ ぽっこりおなか・やせ・肩こり/胃の不調/災害時の健康維持

2024年9月号 特集 アルツハイマー型認知症/貧血/前立腺・膀胱・腎臓がん/肩のこり・痛み

### 栄養と料理

2024年8月号 特集 夏のスポーツと栄養/暑い季節の旬つまみ

2024年9月号 特集 「腸活」で残暑をのりきる/有元葉子さんのベトナムおかず

### ライフライン21 がんの先進医療(寄贈雑誌)

2024年 54号 特集 がん治療と医療機器